

1 自己評価

今年度の重点目標		重点目標の具体的努力点	
1 確かな学力を身につけた情操豊かな生徒の育成		1 ① 電子黒板、タブレット端末の活用や、主体的・対話的で深い学びの実践など、授業や指導方法の工夫改善により、生徒の自ら学ぶ態度の育成と学力の伸長を図る ② 特別活動等を通して生徒の気力、体力を充実させるとともに、挨拶を励行させるなど品位ある生活態度を涵養し、知・徳・体の調和のとれた成長を促す ③ 探究的な学習活動を推進することにより、SDGs等の今目的でグローバルな課題に主体的に向き合い、その解決に向けて具体的に行動できる力を育む	
2 進路実現を目指したキャリア教育の充実		2 ① 自己の在り方生き方について考えさせ、社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育成する ② 3年間を見通し、個に応じた指導を充実させ、進路選択への主体性・積極性や難関大学等へのチャレンジ精神を育成する	
3 生徒の学びを支える、安全で魅力ある教育環境づくりの推進		3 ① 安全・安心な学校づくりを目指し、生徒の状況の把握と感染症予防、施設設備等の適正な維持管理、校舎内外の美化、事故防止等に努める ② 共学化に伴う施設・設備の整備を、教育活動に支障なく進めるとともに、整備終了後にはその有効活用に努める ③ 校務支援システムを活用し効率的で効果的な校務遂行に努めるなど、働き方改革を推進する	

(1)各部、学年、教科による取り組み

重点目標(具体的努力点)について、特に関連・取り組んだ項目についての自己評価。			評価		A:達成できた B:概ね達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった						
部学年教科		各部学年教科の努力目標↓	重点目標1			重点目標2		重点目標3		取り組み・達成状況等	
		重点目標の具体的努力点→	①	②	③	①	②	①	②		③
部	学習	○生徒自らが主体的に学びに取り組む環境を整え、生徒の能力のさらなる向上を目指す。 ○生徒が、未来につながる学力を身につけるための学習環境のあり方を整備する。	B	B	B	B	B	B	B	B	・今年度から動き出した職務内容が多く、現場も係も混乱していた。様々な面でもう少し整理していく必要がある。
	生徒	○節度ある生活態度の育成 ○交通事故防止(特に自転車事故防止) ○教育相談の充実	B	B	B	B	B	A	B	B	・共学化に伴い、男子生徒向けの生徒指導の実践については、今後も改善の余地があるとする。
	特活	○学校行事の適切な運営 ○部活動の奨励と充実、及び、部室・活動施設設備の管理の徹底	B	B	B	B	B	A	A	B	・新部室完成に伴う部室の割り当ての変更を滞りなく実施できた。
	健康	○生涯を通じて健康な生活を送るための知識の習得と実践するスキルを養う。 ○積極的に運動を実践し、健康な生活を送る態度を育成する。 ○災害や感染症に対する意識を高め、安心・安全な生活を送る態度を育成する。 ○清掃への取り組みの徹底。 ○美化意識の高揚	B	B	B	B	B	A	A	B	・感染予防対策として、換気、手指消毒の徹底、教室内での生徒同士の距離の確保など配慮事項を徹底し、感染症対策に努めた。 ・学校の安全を守る主体的な態度を育成する取り組みの一環として、生徒会や各種委員会と連携しながら、複数の生徒レベルでの活動を実施した。
	進路	○生徒の主体的な進路(キャリア)学習を促すと同時に、進路実現に向けた動きをすべての学年・年次において早くスタートできる指導体制を形成する。 ○生徒の学力を十分に伸ばさせると同時に、進学において多様な試験のありかたについて周知し、新傾向の入試への対応を図る。	B	B	B	B	B	A	B	B	・働き方改革について努力してはいるが、業務が多いためなかなか難しい。
	教務	○教育課程の適正実施、及び、授業時数の確保 ○校務運営の協同化及び効率化の推進 ○情報の管理・活用の強化	B	B	B	A	A	A	A	A	・生徒手帳の大幅改定や会議のペーパーレス化など効率化や利便性の向上、ICT化を推進できた。 ・賢者システム2校分(宇中女・中央)の立ち上げは大変だったが、その後は円滑に運営できている。
	渉外	○新校のスタートにふさわしい学習環境の充実に寄与する。 ○同窓会、PTA会員が取り組みやすく、安全で無理のない活動に努める。 ○会計関連業務について、円滑で確実な実施に努める。	B	B	B	B	B	A	B	B	・新校となり、同窓会・PTAともに伝統を受け継ぎながら新たなスタートがおおむね順調に切れた。 ・生徒が学びやすい環境整備について、係としてできる業務を一層進めていきたい。
学年	1学年	○好ましい生活習慣の確立 ○学習習慣の確立 ○進路意識の喚起	A	B	A	B	B	B	B	B	・新校1期生として、後輩の模範となるような生徒を育てていきたい。 ・新科目「理数探究基礎」に関して、次年度以降への骨格を作れた。 ・共学の良さを生かして、これからも学校を活性化していきたい。
	2学年	○好ましい生活習慣の確立 ○学習習慣の確立 ○進路意識の喚起	B	B	B	B	B	B	B	B	・修学旅行において、SDGsや地域活性化の視点から様々なことを観察した。 ・3年間を見据え、第2学年では必要な力を養うべく、個に応じた様々な働きかけを行った。 ・昼休み、放課後等に面談を行い、時間の使い方を工夫した。
	3学年	○自らを律する力の涵養 ○進路実現に向けた学習指導の充実 ○進路実現に向けた進路指導の徹底	B	B	B	B	B	B	B	B	・学校開放を積極的に行い、生徒の自学自習のための環境を整えた。 ・個々の進路希望を実現すべく、個に応じた様々な働きかけを行った。 ・昼休み・放課後等に面談を行い、生徒に関わる時間を確保した。
教科	国語	○学習の習慣化を促し、主体的に学ぶ態度を育み、学力の向上を図る。 ○思考力・判断力・表現力を向上させる。	B	B	A	B	B	B	B	B	・1年次生で探究的な学習の時間に通ずる教材を扱うことができた。
	地歴公民	○多様な手法を用いた思考力・表現力・判断力を育む授業の展開。 ○基礎学力向上につとめ、発展へつなげる学習を促す。	A	B	A	B	B	B	B	B	・各教科担当者同士で授業展開などについて情報を共有しながら、向学心・思考力・表現力の向上を図った。 ・現代社会の諸課題について触れる時間を確保し、将来について考えと共に、グローバルの視野の育成に努めた。 ・新課程における授業実施・観点別評価など、情報収集と共に多様な授業展開について協議をした。継続的にやっていきたい。
	数学	○基礎学力の定着を図る。 ○進路実現のための学力向上に努める。	B	B	B	B	B	B	B	B	・各学年習熟度別授業を実施した。少しずつ成果が出てきてはいるが、下位層の底上げが課題である。 ・観点別評価の研究を継続していく。 ・デジタル教材を研究し、電子黒板を活用した授業を工夫していく。
	理科	○基礎学力の向上を図り、科学的思考力を育成する。 ○大学など他機関との連携を積極的に図り、生徒の自然科学に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上に努める。	A	B	B	B	B	B	B	B	・電子黒板やデジタル教材を積極的に活用する場面が多く見られた。 ・多数ではないが、大学との連携に積極的に関わらせることができた。
	保健体育	○生涯にわたり豊かなスポーツライフを 継続する資質や能力を身につけさせる。 ○健康・安全についての理解を深め、日常生活で実践できる知識と技能を習得する。	A	B	B	B	B	A	B	B	・体育の授業において男女共習や技能差のある生徒同士の学び合いという点を念頭に授業の展開を試みたが、生徒の運動強度、安全面の確保という点で、改善の余地がありそうである。 ・保健の授業で導入している探究的な学びでは、タブレットを用いてプレゼンする生徒も出てきており、授業が活性化している。
	芸術	○基礎的な知識、技術・技能の定着を図る。 ○生涯にわたり芸術を愛好する心情を養う。	A	B	B	B	B	B	B	B	・タブレットを活用できた(作家の作品を鑑賞したり、授業活動を自ら録画し共有することで、自他の鑑賞や評価に生かすことができた)。
	英語	○授業を中心とした指導展開に努め、基礎学力の定着を図る。 ○個に対応した指導の充実。	B	B	A	B	B	B	B	B	・電子黒板やデジタル教材を活用し、生徒間の言語活動を取り入れた授業の展開に努めた。 ・実用英語技能検定を年2回準会場として実施できた。個別に英作文や面接指導等を実施した。
	家庭	○普通科生徒に対しては、社会の諸課題を捉えより豊かな家庭生活や地域生活を創造する能力と実践的態度・技術を養う。 ○総合家庭科の生徒に対しては、家庭に関する専門的な知識と技術を体験的総合的に習得させ、それらを生かして社会の諸課題を改善する力を養う。	B	B	B	A	A	B	B	C	・1人1台タブレットを持つようになり、今年度は活用法の可能性を見つけたことができたので、来年度は実践できるよう心がけたい。 ・家庭クラブ活動では、新規に講習会を企画したり、豊学校に英字新聞を届けるなど、地域とのつながりを持つことができた。 ・成年年齢の引き下げを受け、消費者金融教育では、外部講師の協力を得ながら有意義な学びをすることができた。 ・コロナ禍の中でインターンシップや保育園実習ができ、進路選択について具体的に考えさせることができた。

(2)生徒・保護者アンケート結果分析

○学習・進路に関する項目は概ね8～9割の肯定的評価を得ている。特に探究的な学習活動の推進に関して、1年次生の98.6%が肯定的評価をしている。今年度から始まった新科目「理数探究基礎」での取り組みの成果と考えられる。

○安全・健康・生徒指導に関する項目では、防災・防犯及び交通安全指導に対する生徒の評価が昨年度より8.6%上昇し、校舎内外の美化活動は昨年同様高評価を得ている。いじめに関する項目については、学校としては「いじめアンケート」や個別面談等できめ細かい対策を行っているが、引き続き努力が必要である。

○特別活動に関する項目では、昨年度に引き続き部活動や生徒会活動の充実が全項目中最高評価である。学校行事については、昨年度より肯定的評価が上昇した。感染症対策に留意しつつ可能な限り学校行事を実施したことが反映していると思われる。

○電子黒板やタブレット端末の活用については、設備環境が整備され、活用場面も増えたことから、生徒の肯定的評価が昨年度より20%上昇している。今後も活用方法をより一層研究し、教育活動の充実に努めたい。

○生徒・保護者への相談体制に対する評価については昨年とほぼ変わりない。引き続き信頼関係の構築に努めたい。

○情操と品位の醸成についても8割以上の肯定的評価を得ている。

○本校の総合的な満足度については、生徒・保護者ともに9割以上であるが、全員が肯定的評価になることを目指したい。

○保護者の「わからない」という回答の多いものについては、折に触れて情報提供や説明を行うよう心がけていきたい。

(3)重点目標に対する総合評価(努力点ごと)

重点目標1
①概ね達成できた。電子黒板やタブレット端末が整備され、活用場面が増えている。今後も授業方法や指導方法のさらなる研究に努め、教育活動の充実に努めたい。また、新教育課程や単位制に向けた授業力・指導力の向上により一層努めたい。
②概ね達成できた。新校においても情操豊かな人間の育成が教育目標になっており、今後もあらゆる教育活動において、人間性豊かな生徒の育成を意識して指導を続けたい。
③生徒アンケートより、探究的な学習活動に取り組むことの意義が浸透していることが分かった。部、教科、学年と様々な場面で取り組みがなされており、今後もよりよい指導法を研究していきたい。
重点目標2
①概ね達成できた。今後も「自己の生き方」「自立」に向けた指導は学校の教育活動全体を通してなされるものであるということを全職員が意識して指導にあたりたい。
②概ね達成できた。「進路選択への個に応じた指導」については学年、教科はもとより、生徒との様々な関わりの中でなされている。今後も様々な教育活動の場面において、生徒一人ひとりに応じたきめ細かい指導を心がけたい。
重点目標3
①安心・安全な環境はあらゆる教育活動の土台であるので、その確保と安全や健康に対する意識の高揚に向けて今後もより一層の努力をした。いじめに関しても、きめ細かい指導の徹底と相談体制の周知、細やかな目配りに引き続き努めたい。
②共学化に伴う施設・設備の整備は継続中であるが、できる限り教育活動に支障のないよう配慮し、進めていきたい。整備が終わった施設・設備についてはすでに活用を始めた部所もある。今後も各部所で活用方法を研究していきたい。
③各部所で校務の効率化、精選の努力をしているが、働き方改革や効率的な組織運営に課題があるという教員の声も多く、多忙な状況にあることがうかがえる。新校がスタートしたばかりで手探りで進めている部分が多く、改善が進みにくい現状があるが、よりよい教育活動を行うためにも、引き続き業務の精選や学校組織の強化、職員の意識共有と連携が不可欠である。

2 学校関係者評価及び評価結果に基づく今後の改善方策等

主な御意見	今後の改善方策等
○生徒指導や心身の健康管理指導の具体的な取り組みについて、生徒や保護者の認知度が他の項目に比べるとやや低い。学校の取組みについて、より丁寧な説明が必要ではないか。	○学校の具体的な取り組みについて、より丁寧な説明に努める。
○効率的な校務遂行や働き方改革について課題があるようなので、改善に努めてもらいたい。	○新校務支援システムの運用をさらに進め、効率的な校務遂行の条件整備に努める。
○時間が限られているにも関わらず業務が増えている中で、先生方は非常に大きな成果を上げてくださっている。そのことをぜひ先生方に伝えてもらいたい。	○行事の企画に際し新型コロナウイルス対策を考える中で業務の精選や工夫が進んだ経験を活かし、今後も業務の精選や工夫を心がけ、働き方改革につながるよう努める。
	○課題ばかりでなく、日々の教育活動の成果についても、折に触れて校内で共有するよう努める。